

## 令和3年度 社会福祉法人 梨雲福祉会 事業計画

スローガン：有事にも揺るがない基盤づくりを

令和2年度は世界的なウイルスの影響で、予定していた運営方針、行事なども全て見直さなくてはならなくなり、それに加えて年始の大雪により利用者様の受け入れが困難な時期もあり、全体として大幅な減収になった。大変な情勢の中で、感染のリスクを抱えながらも法人から感染者を出さないよう注意し、かつ業務を遂行しなくてはならない私たち高齢者にかかわる仕事は改めてエッセンシャルワーカーという、欠くことのできない大切な職務であることを痛感させられた。今までと同じではなく、よりご利用者のニーズに応える方法を考えていく必要があり、令和3年度こそ介護という接触が必要な現場で、ニューノーマルな体制を構築しなくてはならない。同時に今年度は介護報酬改定もあり、今回の改定では感染対策はもちろんのこと、健康寿命延伸のための取り組みにも注目されている。法人の保有する資源を見直し、より一層地域へ還元していく。ハード面の改修は計画的に中長期で行っていき、何よりも大切な職員の成長と目標の実現のため、これからも働きやすい職場を提供していく。

### <重点項目>

#### ① 感染症、自然災害時のリスク対策を行います。

新型コロナウイルスの影響でソーシャルディスタンスに阻まれて、家族のつながり、地域のつながり、友人とのつながりなどが分断され、介護現場も大変な混乱とダメージを受けた。それに加え、記録的な大雪のため、職員の通勤や流通、送迎を伴う事業に支障をきたした。令和3年度も引き続き新型コロナウイルスによる影響は続くと予想され、感染対策を行いつつ、自粛ではなく、法人のサービスを継続して利用していただけるような取り組みを行う。利用者、職員共に不安なく過ごせるように、感染対策、衛生管理を徹底する。また今年度も年始のような災害級の大雪、大雨など自然災害も起こる可能性はあり、迅速に対応できるよう自然災害時のBCP(事業継続計画)を策定し、シミュレーションを行う。

#### ② 創設30周年の感謝の気持ちを地域に還元していきます。

今年度法人は創設30周年を迎える。コロナウイルスの感染リスクを考え大きなセレモニーは控えるが、これからの10年20年に向けて、法人が行ってきた地域貢献を継続する足掛かりとして、地域住民と共に行うウォークラリーを開催する。またこれまで以上に地域活動の一端を担えるように、法人の資源を開放し、利用してもらえるような情報提供を行っていく。

- ③ 富山市SDGsサポーターとしての法人内の取り組みを明確化します。  
法人が取り組んでいるSDGs（持続可能な開発目標）は職員の意識統一は図れるようになってきたが、我々の仕事、取り組みが持続可能な社会づくりに関わっているという意識を高められるように、各部署で目標を掲げ達成度の評価を行っていく。節電、節水、フードロスをなくすなどの取り組みは、無駄のない法人運営にも必須であり、意識を高めていく。
- ④ 職員の仕事に対する満足度、帰属意識の向上をはかります。  
今まで同様にオンラインでも参加できる研修などを有効に活用し、苑内研修も充実させ、一人一人のスキルアップに取り組む。人事考課制度も見直し、人事管理だけではなく、個々にフィードバックすることでモチベーションアップできるような体制を作る。コロナウイルスの影響で職員間のコミュニケーションも希薄になっているが、管理職によるこまめな面談を行い現状把握を密に行う。
- ⑤ 安定した財務管理を行います。  
有事の際も切れ間なくサービスが提供できるように、各部署横の繋がりを密に、風通しよく情報を交換する。利用率を上げ、空床を作らないよう、必要とされている方に的確なサービスを提供する。また無理のない資金調達を計画的に行う。

## 特別養護老人ホーム 梨雲苑

## 1. ホーム

- (1) スローガン      ~暮らしを、ともに、つくる~
- 「暮らす人」      自分でいられる場所、思う暮らしができる場所、あたたかい場所
- 「集う人」        何度も訪れたい場所、自分を発揮できる場所、心地いい場所
- 「働く人」        働きたい場所、働き続けたい場所、大切な場所

## (2) 目標 ホーム1階ユニット型介護施設（10人単位）

## (ア) やまぶき： 一人ひとりの時間を大切に

- ・ 入居者様一人ひとりの時間を大切にし、穏やかに暮らせるようにサポートします。
- ・ 共に四季折々の風情を楽しめるような共有空間づくりに努めます。
- ・ 入居者様に寄り添い、笑顔を引き出せるような声掛けを行います。

## (イ) さざんか： 居心地の良い場所を提供します

- ・ 入居者様のさまざまな不安を解消し、安心と安定の場を提供します。
- ・ 入居者様個人の体調の維持に努め、その時、その方に合った“美味しい食事”を提供します。
- ・ 職員のチーム力を高め、ワンチームのケアを進めていきます。

## (ウ) すみれ： 安心できる生活の場を目指して

- ・ 入居者様一人ひとりと向き合い、個別ケアに努めます。
- ・ ユニット職員と入居者様が笑顔で過ごせる環境を目指します。
- ・ 日々、見直しをし、暮らしの継続に繋がります。

## 目標 ホーム2階ユニット型介護施設（10人単位）

## (ア) さくら： 一人ひとりの笑顔と思いを大切にします

- ・ 互いの人生と生きがいを尊重し支えあうコミュニティを作ります。
- ・ 楽しく美味しい食事の時間を提供します。
- ・ 生活しやすい環境を設けます。
- ・ 仕事と生活の調和がとれるチームを目指します。

## (イ) なのはな： 共に笑い、共に暮らす

- ・ 統一したケアができるようカンファレンスの充実化、職員間の情報共有をしっかりと図ります。
- ・ 職員の言動が環境の一つであることを意識し、心にゆとりを持ち入居者様のペースに合わせ、入居者様、ご家族様の想いを形にします。
- ・ 楽しみの場を提供できるよう、おやつ作りや誕生日会を行い、季節感を感じてもらえるよう散歩などの機会を増やします。

(ウ) あやめ : 日々の暮らしを大切に

- ・ 入居者様の状態変化に合わせた日々の記録や多職種とのカンファレンスを通して、ケアの統一を行います。
- ・ 一人ひとりの思いに寄り添い、安心と安全を守ります。
- ・ 季節が感じられるような装飾や行事をし、楽しめる機会を増やします。

(エ) つつじ : 自分のペースでのんびり暮らす

- ・ その日その時の入居者様の状態に合わせて丁寧に支援します。
- ・ 職員一人ひとりがスキルアップを図り、質の良いサービスを提供できるよう努めます。
- ・ 入居者様、ご家族様にとって今しかない時間を大切に、日々の暮らしをサポートします。

(オ) もくれん : 個性と尊厳を大切に。穏やかな暮らしの場を作ります

- ・ 入居者様一人ひとりの主体性を大切に、安心・安全な支援を行います。
- ・ 入居者様の心と体の健康に留意し、情報共有を行いながら変化に応じた支援を行います。
- ・ 笑顔で挨拶、丁寧にやさしい言葉遣いで、入居者様が穏やかに過ごせる環境を作ります。

(カ) すずらん : 一人ひとりの思いに寄り添い暮らしを支える

- ・ 入居者様を観察してしっかりと記録し、状態変化の早期発見に努めます。
- ・ 職員間で支援を統一し多職種と連携して安心、安全なケアの提供をしていきます。
- ・ その人らしく過ごせるよう、ご家族様と情報交換、共有をこまめに行います。

(3) 看護 スローガン ~看護の力で安心・安楽を~

方針 : 常に専門的な視野で感染予防対策に努め、入居者様・職員の健康管理を行います。

## 重要事項

(ア) 健康管理

- ・ 入居者様の健康状態を観察し、長く暮らし続けられるよう異常の早期発見に努めます。又、医師・ご家族様と適切な連携を取り、迅速な対応で信頼関係を築くよう努めます。
- ・ 感染症（コロナ、インフルエンザ、ノロなどウイルス感染、結核等）の蔓延防止に努め、勉強会を実施し、職員の知識向上にも力を入れていきます。
- ・ 入居者様、職員の定期健診を円滑に進めます。
- ・ 職員の腰痛予防に福祉機器を活用していきます。
- ・ 褥瘡、皮膚疾患の発生リスクの早期発見、防止に努めます。

(イ) 看取り看護

- ・ 本人さまとご家族さまの意思を尊重し、人生の最期を苦痛なく安心して迎えられるように全力で支援します。
- ・ 看取りに関わる職員と医師、ご家族様と連携し、その都度対応します。

(ウ) 口腔ケア

- ・ 歯科医師の指示のもと、訪問歯科衛生士の指導・助言を受け、入居者全員に対して安全で適正な口腔清掃と口腔リハビリを実施します。
- ・ 正しい口腔ケアで経口摂取の維持向上と誤嚥性肺炎の防止に努めます。

(エ) 個別機能訓練

- ・ 日常生活の中で入居者様一人ひとりの状態に応じた個別訓練の実践を通して、残存機能の維持と廃用症候群の予防に努めます。

(4) 給食・栄養（梨雲苑・梨雲苑ゆうゆう・さいさい共通）

スローガン ～安心・安全でおいしい食事の提供、食べる喜びを届けよう～

- ・ 利用者様・入居者様がより食べやすい形態で、よりおいしく食べていただけるよう改善すべき点を話し合い、日々進化した食事作りを行う。
- ・ 異物混入や配膳ミスが起きないように、職員全員が自覚と責任をもって仕事に取り組む。
- ・ 配食サービスを軌道に乗せ、地域・在宅等の苑以外の需要やニーズに沿った厨房運営をこれからも進める。
- ・ イベント食の充実
- ・ 厨房職員内での情報の共有を行い、厨房全体の意識を高め食事に反映させていく。

(ア) 給食管理

- ・ 衛生面でも安全・安心な食事の提供  
（食材・食事の温度管理・品質管理）
- ・ 誤配膳のない食事提供・正確な食数管理
- ・ 禁忌食品・アレルギー食品の把握
- ・ 災害時または緊急時の対応（備蓄品の確認含む）
- ・ 細やかな心遣いで盛り付け・配膳を行う
- ・ 無駄のない食材管理
- ・ 地元のお米や野菜を取り入れ、生産者との顔の見える関係を作り、新鮮なものを安心して召し上がっていただく

(イ) 食事管理

- ・ 行事食・お食事会の充実、季節感あふれる食事の提供
- ・ 入居者様の個々の咀嚼・嚥下状態に合わせた食事形態の提供
- ・ ユニットケアならではの生活感・ぬくもりのある食空間作り
- ・ 安全で衛生的な食環境の確立
- ・ 嗜好調査を行い、対象者の食事に対する思いを把握し食事に反映させる

(ウ) 栄養管理

- ・ 栄養マネジメントを的確に行い、入居者様の栄養管理を実施する。
- ・ 医師の指示のもと、適切な療養食を提供する。
- ・ 栄養管理を行う専門家として自己啓発に取り組む。

## (5) 重要事項

### (ア) 質の高いケア

- ・ 多職種の専門性を発揮し、ケアマネジメント力を向上する
- ・ 迅速な報告・連絡・相談・記録、カンファレンス・会議の充実
- ・ ユニットケアについてさらに理解し、伝え、実践を継続する
- ・ 記録ソフト・24Hシートの充実と活用、ケアプランとの連動  
記録は、24時間の暮らしぶりがわかるもの  
24時間働く姿が見えるもの  
介護の専門性を示すもの
- ・ 福祉用具の活用（必要な方へ必要なものを必要なタイミングで）
- ・ 拘束ゼロ
- ・ リスクマネジメント力の向上「防げる事故を防ぐ」
- ・ 感染症予防の徹底、継続
- ・ 場所づくり（暮らす場所、集う場所、働く場所を見直し変えていく）
- ・ 四季を感じられる暮らしづくり
- ・ これを食べたい、これくらい食べたい、こんな風に食べたい、の実現
- ・ クラブ活動の充実・ボランティアの活用
- ・ ご家族様や地域と共に暮らしをつくる
- ・ ユニットリーダー研修実地施設、介護実習施設としての役割を果たす

### (イ) 豊かな人材づくり・働きやすい環境づくり

「わかりあい、感謝し、助け合おう」

- ・ 信頼し合える仲間（チーム）をつくる
- ・ 勉強会、研修、職員教育プログラムの充実と自己研鑽の継続
- ・ 新しい情報をいち早く取得し、最新の知識や技術を身に着け共有する
- ・ 自身の強みや関心を周囲へ発信し暮らしとケアの質の向上へつなげる
- ・ 働く者、専門職としての自覚と接遇マナーの向上
- ・ （挨拶・言葉づかい・身だしなみ・態度・姿勢・知識・実践力）
- ・ 心身共に健康な身体づくり（日々の体調管理）
- ・ 研修生、実習生と、共に学び、成長し、出会いを大切にする
- ・ 共に働く仲間、新しい仲間を大切にする

(ウ) 定員および目標	ホーム1階	定員 30人	目標 30人
	ホーム2階	定員 60人	目標 60人
	合計	定員 90人	目標 90人

空室日数を短縮し安定した収入を確保する。

## 2. 居宅介護

### 梨雲苑デイサービスセンター

#### (1) スローガン ～全員が主役～

利用者様、職員それぞれが主体的に動くことができ、挑戦や経験を通して自己実現力を得て、心身ともに豊かな生活を送ることができる。

(2) 方針

節目の30周年を迎えるにあたり『温故知新』の心を忘れずに、時代に即したサービス提供ができるよう新しいことに挑戦します。

地域共生社会の実現を目指し利用者様とご家族様、そして地域の人々とこれまで培ってきた『つながり』、これからの新しい『つながり』を大切に、地域で選ばれる事業所になるよう努めます。

(3) 重要事項

(ア) 個別ケアへの取組み

利用者様一人ひとりの視点に立ち、共感・共有を大切に利用者様・ご家族様・職員の笑顔をつなげるようなサービス提供に努める。

(イ) 心身の健康

コロナ禍においても安心してご利用いただけるよう、相談・助言を行い看護職員を中心に多職種との連携を円滑に図る。

(ウ) スタッフの育成

中長期を見据えた人材育成を視野に入れ、継続的な成長を図ると同時にお互いに信頼し支えあえる職場づくりを目指す。

(エ) 情報発信

ご家族様や地域をつなぐ方法の一つとしてホームページや広報誌を積極的に活用する。

ボランティアの発掘や地域交流を大切に、地域への貢献を意識する。

(オ) 他事業所・他職種との連携

地域包括支援センターや各居宅サービス事業所との連携を密にし地域、高齢者が安心して生活していただける環境を作る。

(カ) 定員および目標（介護予防を含む）

デイサービス 一般型	定員	40人	目標	40人
デイサービス認知症型	定員	12人	目標	12人
合計	定員	52人	目標	52人

梨雲苑ヘルパーセンター

スローガン

3つの「配りもの」～気配り・目配り・心配り～より笑顔を繋ぎ信頼関係を築く

(1) 方針

利用者様本位の立場に立ち、常に笑顔でサービス提供に努める。

利用者様・ご家族様と共に歩み、相互理解に努め信頼関係を構築する。

(2) 重要事項

法令遵守、個人情報保護に努め透明性のある運営。

利用者様が在宅生活を安全に安心して継続できるよう3つを配り繋ぐ。

- (ア) 運営体制 質の高いケアマネジメントの実施
  - ・利用者様一人ひとりのできる事、できない事を把握、自立に向けたその人らしい暮らしの支援に努める。
  - ・ニーズからウオントツへ。（ニーズの奥にある利用者様の思いを捉える）
- (イ) 地域・環境への働きかけ
  - ・地域の方々と結ぶ接点として、交流を働きかけ理解を深める。
  - ・SDGs できることから実施、意識化する。
- (ウ) 人材育成
  - ・働きやすい環境を確保  
（声を出し合い、職員一人ひとりが守られ、役割を持てる事業所へ）
  - ・情報の共有、タブレットを用い円滑に図れる連絡体制に努める
  - ・特定事業所加算Ⅱの事業所として定期的な研修を通し質の向上に努める
  - ・自己チェックの継続、常に問題意識を持って日々研鑽する
  - ・利用者満足度の追求・苦情対応、心情を理解し業務改善へ
- (エ) 新しい体制づくり
  - ・新規タブレット導入に伴い、意見交換を行いながら新しいビジョンを構築させる。（ICT化における多職種連携、情報の共有を図る）
  - ・危機管理体制の構築  
各種災害・感染症対策、状況に応じて検討、実情に合ったマニュアルの作成。
  - ・自費サービス運用に向けた基盤の構築

### 3. 梨雲苑指定居宅介護支援事業所

～スローガン：笑顔で共に過ごす～みんなで支えあう地域の架け橋として～

#### (1) 方針

住み慣れた地域で利用者・家族が望む在宅生活が継続できるよう「自立支援」に向けた支援を総合的に行う。また、感染症・大規模災害時に的確に対応できる体制を整え、切れ目のないケアマネジメントが行えるよう努める。

#### (2) 重要事項

##### (ア) 感染症・大規模災害時の体制確保

- ・定期的に研修会に参加し、職員全体で正確な情報・最新の情報を周知する。
- ・近隣の居宅支援事業所との情報交換を行い、顔の見える関係づくりを行い協力体制を整える。

##### (イ) 多職種との連携

- ・利用者を取り巻く事業所、関係機関等との連携を密にし、チームとなって同じ方向性で支援できるよう情報共有を図りながら本人主体となるケアマネジメントを行う。
- ・包括支援センターや他事業所と共に地域課題を見出し、その課題に取り組んでいけるよう努める。



(ウ) ケアマネジャーの資質向上

- ・ 研修会や事例検討会、勉強会を通して知識や技術のスキルアップに努める。
- ・ 問題解決に向けた情報提供・話し合いの場を設け、一人ひとりのケアマネジャーの質が向上できる教育体制を整える。

4. 呉羽地域包括支援センター

スローガン 「標」～みんなが主役になれる地域へ～

高齢者だけでなく、障害があっても、大人でも子供でも、皆が主役になれる地域共生社会の姿を、職員が道標となって実現することを目指す。

(1) 方針

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、①各地域の主体性や自主性・特性に基づきながら、②丁寧に地域住民の声を聞き取り、③住民や関係機関と協働して、地域課題の解決に取り組む。

(2) 重要事項

(ア) 介護予防

富山市の重点テーマである閉じこもりの早期発見や誘い出しに努める。

そのために、①地域の担い手づくりや連携体制の充実

②地域に根ざした介護予防活動や集いの場づくりの支援

③対象者への切れ目のない支援に努める

(イ) 権利擁護

地域における認知症や虐待等の権利擁護に関わる問題に、行政や関係機関係機関と連携し適切に対応する。

地域において、認知症の正しい知識や適切な対応方法の周知を図り、虐待の早期発見を目指す。

(ウ) サービス提供の適正化

ケアマネジャーをはじめとする地域の関係機関が利用者の自立と尊厳のために、適切なケアマネジメントやサービス提供が出来るよう、研修会や情報交換会の開催などを積極的に行い、継続的に支援する。

5. 地域かがやきアドバイザー

スローガン

新たな生活様式の中で地域と共につくる、住民のつながりを強化する活動の創出

- (1) 方針：1年間の感染症対策を基本に地域活動の進め方を工夫し、より多く幅広い年代が一緒にできる活動を創出し、新たな生活様式のなかで住民間のつながりを強化していく。

(2) 重要事項

創設30周年の節目として記念行事の開催や刊行書の発行など、地域の存在イメージの向上をはかる。

停滞気味の長寿会活動に対し活動の幅を広げるための相談の機会を作り、新たな提案や支援を行っていく。

## 特別養護老人ホーム 梨雲苑ゆうゆう

### 1. ホーム

スローガン

～「私らしい暮らし」「ぬくもりのある暮らし」「支えあう暮らし」～

#### (1) 方針

私達は、入居者様の「豊かな暮らしの継続」を支援するために明るく家庭的なぬくもりのある雰囲気を中心に、家族や地域との結びつきを大切にします。

また専門職としてのスキルアップに努め、常に向上心を持ち、入居者様、ご家族様、地域の皆様に信頼される介護職となるよう努めます。

#### (2) 目標 梨雲苑ゆうゆう3階 ユニット型介護施設（10人単位）

##### (ア) なでしこ

- ・ 生活の中で四季を感じながら入居者様一人ひとりの楽しみを提供できるユニットを目指します。

##### (イ) すいせん

- ・ 入居者様の自立支援を助け、本人らしい暮らしとなるよう多職種協働で支援します。

##### (ウ) こすもす

- ・ 入居者様の気持ちを大切にし穏やかな暮らしができるよう支援します。

##### (エ) あじさい

- ・ その人らしさを尊重し家庭的な温かみのあるユニットを目指します。

#### (3) 重要事項

##### (ア) 質の高いケア 丁寧なケア

- ・ 四季折々の行事を通して入居者様の生活に潤いを提供します。
- ・ 入居者様の情報の共有化を図り、それぞれの暮らしに合わせた働き方を行います。
- ・ 福祉用具を活用し安心、安楽な支援を提供します。
- ・ 職員一人ひとりが専門職として自覚を持ち、勉強会、研修を通して新しい情報を取得共用しスキルアップに努めます。
- ・ ユニットケアについて理解を深め実践し、また24時間シートの充実と活用を深めます。
- ・ リスクマネジメント力の向上に努めます。

##### (イ) チームケアの向上、多職種協働

- ・ チームで支えあい、声を掛け合い豊かなワンチームを作りあげます。
- ・ 多職種の専門分野を発揮し、ケアの質の向上を目指し多職種協働を実践します。

##### (ウ) 定員および目標

梨雲苑ゆうゆうホーム 定員 40人 目標 40人

## 2. 居宅介護

### 梨雲苑ゆうゆうデイサービスセンター

(1) スローガン ～より迅速に より温かく より細やかに～

#### (2) 方針

利用者様、ご家族様を慮り、スローガンのもと適切なサービスを提供を行います。利用者様に必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう、日々研鑽しサービスの質の向上に努めます。

#### (3) 重要事項

##### (ア) 個別ケアへの取り組み

利用者様に寄り添い、個々のニーズを正確に把握し、生活における充実感や喜びを感じていただけるケアを目指す。

##### (イ) 家族・地域との信頼関係

ご家族様や地域との信頼関係を深めるため、ご家族様・地域への情報発信や地域活動への参加を積極的に行っていく。

##### (ウ) スタッフの育成

一人一人が学ぶ立場であると同時に教える立場であると認識し、相手を尊重しあいながら互いに成長できる職員を目指す。

##### (エ) 定員および目標（総合事業を含む）

                        デイサービス 一般型 定員 40人 目標 40人                        

### 梨雲苑ゆうゆう2階 短期入所生活介護

スローガン “つなぐ” を支える

～ 安心・安全な暮らしの継続を まごころ（ハート）を持って支えます～

#### (1) 方針

個人のプライバシーが守れる『個室』と他者との交流を持つことが出来る『居間』にて共同生活を送って頂き、その中でも一人ひとりの個性や生活リズムに応じた生活を尊重し自立支援を促します。又、有する能力に応じた日常生活を営む為に、必要なサービス提供や尊厳と自立を支えるケアを実践することで重度化防止にも繋がっていきます。

#### (2) ユニット目標

##### (ア) ひいらぎ：暮らしの継続を支える

- ・ 利用者様一人ひとりの生活が継続できる“生活の場”であるよう支援し“また来たい”と書いていただけるような居心地の良い空間を提供します。

##### (イ) かえで：笑顔を支える

- ・ 心から湧き出る笑顔を引き出し利用者様にとって“もう一つのわが家”と書いていただけるよう居心地の良い空間を提供します。

(ウ) くちなし： 新しい出会いと幸せを

- ・ 日々の出会いとつながりを大切に、おもてなしの心であなたを幸せにします。

(エ) はなみずき： いつでも あなたらしく いられる場所

- ・ 1人ひとりの意向、好みを大切に、安心して過ごせるよう居心地の良い空間を提供します。

(3) 重要事項

- ・ 利用者様が意思決定できる環境づくりとその人らしく幸せな暮らしの実現を支援します。
- ・ ご家族様や介護支援専門員と連携を持ち、情報共有や情報交換に努め、適切かつ迅速なサービス提供を行います。
- ・ 職員は介護ニーズの複雑化、多様化、高度化に対応し、利用者様やご家族様のエンパワメントを重視した支援を心がけます。
- ・ 『介護・医療・福祉』の連携を大切に地域の皆様のニーズに沿ったサービス提供が包括的に出来る様に努めます。

(4) 定員および目標

ゆうゆう短期入所生活介護 定員 40人 目標 38人

3. 梨雲苑ゆうゆう指定居宅介護支援事業所

スローガン

～ひとつひとつの出会いを大切に、いつまでも繋がりある支援を心掛ける～

(1) 方針

利用者様・ご家族様の意向を大切にし、在宅生活が継続できるように支援する。地域の声を関係機関に繋げ、信頼される事業所・介護支援専門員となるように努めていく。

(2) 重要事項

(ア) ケアプランの質の向上

介護支援専門員のアセスメント力を高め、ケアプランに利用者様・ご家族様の意向・援助方針を明確にしたケアプラン作成に努める。日頃から問題意識を持ち、生活全体を見据えた支援を行う。

(イ) 介護支援専門員の指導体制の強化

利用者様の状態変化、ご家族様の環境変化などにおいて、関係機関との連携を図り、迅速かつ適切に対応する。2名の主任介護支援専門員の配置に伴い、それぞれの介護支援専門員のスキルアップが出来るように、相談・指導体制・指導体制を整える。研修会等に積極的に参加し、自己研鑽に努める。

(ウ) 特定事業所加算Ⅰの維持

要介護3以上の利用者様の維持に努めるため、新規ケースを積極的に受け入れ、安定したケースの確保を行う。利用者様の状態等の把握に努め、利用者様・ご家族様に寄り添い、切れ目のない対応を心掛ける。

4. 事業所内託児所（ゆうゆうガーデン）

スローガン ～大きく のびのび みんなの笑顔～

(1) 方針

子供たちが安心して過ごすことの出来る生活の場を提供するため、保育環境を整えのびのびと成長出来るよう保育を行う。

(2) 重要事項

(ア) 子供たちが育ち合うために自発的、意欲的に関われる環境を構成し、保育者同士の様々な配慮や援助の方法を考えていく。

(イ) 苑と家庭が連携し、子供たちの状況や発達過程を踏まえ、保護者一人ひとりの保育ニーズに耳を傾け子育ての支援をする。

(ウ) 自然環境との出会いを大切にし、工夫しながら保育の内容に自然を取り入れたり、高齢者の方々との触れ合いを通した心豊かな保育を目指す。

## でいさーびす さいさい

### 1. 居宅介護

#### でいさーびす さいさい

##### スローガン

～利用者様最優先をモットーに、利用者様が満足できる事業所にする～

#### (1) 方針

「利用者様一人ひとりの個性と人格」を尊重し、適切なサービスを行います。これにより利用者様及びご家族様より信頼される介護サービスの提供に努めます。地域の高齢者が日常生活を継続できるよう支援し、地域で選ばれる事業所になるよう努めます。

#### (2) 重要事項

##### (ア) 個別ケアの取り組み

- ・利用者様一人ひとりの視点に立ち、共感・共有を大切に日々の生活に充実感を得ていただけるサービス提供を行う。
- ・サービスの提供方法として、自己選択や自己決定につながるサービスを検討し、取り組む。

##### (イ) スタッフのスキルアップ

- ・新しい生活様式の中での基礎的知識を身に着けるため事業所内で研修を行い、利用者様との関わり方を整え、職員全員が同じ思いでサービスを提供する。
- ・日々、業務改善を意識し無駄のない業務に取り組めるよう努める。

##### (ウ) 介護予防サービスの見直し

- ・基本動作・基礎体力向上のメニューの充実を図り、利用者様の生活機能の維持・向上を支援し、在宅生活の継続に繋げる。

##### (エ) 地域貢献活動

- ・運営推進会議や地域活動など、地域の方と関わる機会を大切にして、企画や情報を発信し地域活動の拡大に繋げる。
- ・新しい生活様式の中で地域住民との関わりを検討し、ボランティアの受け入れ等の流れを確立させ、地域の方がさいさいに足を運んで頂けるよう努める。

##### (カ) 定員および目標（総合事業を含む）

デイサービス 小規模 定員 18人 目標 16人

## 2. さいさい居宅介護支援事業所

スローガン ～その人らしさを大切に 地域で支えていける事業所へ～

### (1) 方針

「自立支援」の視点を持ちその人らしさを大切にしながら、利用者様・ご家族様に寄り添いながら、住み慣れた自宅で生活できるように継続的に支援する。

### (2) 重要事項

#### (ア) ケアマネジメント力の向上

アセスメントの重要性を理解し「質問力」「情報収集力」「分析力」の向上に努める。その人らしさを大切にしたケアプランの作成に心がける。

#### (イ) 災害発生時の体制づくり

感染、大雪災害発生時には法人と一体となり対応できる体制づくり。地域包括支援センターや地域の居宅介護支援事業所と情報共有を行い、協力体制を整えていく。

#### (ウ) ケアマネジャーのスキルアップ

ケアマネジャーが学びたいこと、より深めたいことを研修計画に取り入れ、研修会へ参加し、事業所内での勉強会にいかしていく。事業所内での定期的な勉強会、事例検討会を継続的に行う。

#### (エ) 安定したケース数の確保

新規ケースを積極的に受け入れていく。デイサービスと共に地域を知り、馴染むことで地域の方が相談しやすい事業所を目指す。